Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

2025年11月17日

目次

1 P.3

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算の概況

決算サマリー(上半期の状況 / 決算の概況) / 経営成績 / 財政状態 / キャッシュ・フロー

2 P.8

2026年3月期 第2四半期(中間期)個別決算の詳細

土木事業 / 建築事業 / 土木・建築合計 / 東海第二発電所において確認された事象について

3 P.13

2026年3月期通期の業績見通し

2026年3月期 通期の業績見通し / 【個別】業績予想(土木事業 / 建築事業 / 土木・建築合計) / 株主還元

4 P.19

「中期経営計画2025」進捗状況

事業強化 / 人的資本の価値向上・ESG経営の推進 / 成長投資 / 政策保有株式の縮減

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算の概況

決算サマリー

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

上半期の状況

国内土木

政府建設投資は堅調に推移

（当社ターゲット）

- ✓ 総合評価案件の大型プロジェクト
- ✓ 高速道路や上下水道施設の維持更新

国内建築

民間建設投資は堅調に推移

（当社ターゲット）

- ✓ 生産施設や物流倉庫
- ✓ リニューアル

海外

日系企業による生産施設の投資が継続

（当社ターゲット）

- ✓ 北米エリア・東南アジアにおける生産施設
- ✓ 土木ODA案件

資材・労務

注視が必要な状況が継続

- ✓ 資材価格・労務費の動向
- ✓ 設備工事など、労務確保のひっ迫感

決算概況

大型工事の進捗・工事の採算性向上により、前年同期比 増収増益

連結売上高	2,010億円（前年同期比+7.6%）	■ 主に大型工事の順調な進捗により、完成工事高が増加
連結営業利益	120億円（前年同期比+24.2%）	■ 売上総利益が増加
親会社株主に帰属する中間純利益	77億円（前年同期比+18.3%）	■ 営業利益の増加に加え、政策保有株式縮減に伴い特別利益を計上
個別受注高	1,592億円（前年同期比△16.1%）	■ 土木（305億円、前年同期比△39.9%） 建築（1,286億円、前年同期比△7.5%）

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【連結】経営成績

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期		
	実績	実績	前年同期比	
売上高	186,865	201,023	+14,158	+7.6%
売上総利益	21,489	27,097	+5,607	+26.1%
（売上総利益率）	（11.5%）	（13.5%）	（+2.0pt）	（—）
販売費及び一般管理費	11,762	15,021	+3,258	+27.7%
営業利益	9,726	12,076	+2,349	+24.2%
（営業利益率）	（5.2%）	（6.0%）	（+0.8pt）	（—）
経常利益	9,472	11,321	+1,849	+19.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	6,551	7,752	+1,200	+18.3%

（単位：百万円）

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【連結】財政状態

Be a ChangeBuilder. 安藤ハザマ

	前中間期末 2024年9月30日	前期末① 2025年3月31日	当中間期末② 2025年9月30日	前期末比 ②－①
流動資産	242,973	287,813	258,551	△29,261
固定資産	86,957	84,160	95,355	+11,194
資産合計	329,931	371,974	353,906	△18,067
流動負債	156,538	186,473	154,814	△31,659
固定負債	14,600	13,316	14,777	+1,461
負債合計	171,139	199,790	169,592	△30,198
純資産	158,791	172,183	184,313	+12,130
負債純資産合計	329,931	371,974	353,906	△18,067
有利子負債(百万円)	30,096	27,898	29,622	+1,723
D／Eレシオ※(倍)	0.19	0.16	0.16	△0.00
自己資本比率(%)	47.8	46.0	51.8	+5.8pt

※ D/Eレシオ:有利子負債／自己資本(純資産－非支配株主持分)

（単位:百万円）

ポイント

＜資産＞
■ 投資有価証券が増加した一方、受取手形・完成工事未収入金等が減少

＜負債＞
■ 工事未払金等、未成工事受入金、預り金が減少

＜純資産＞
■ 利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【連結】キャッシュ・フロー

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	ポイント
現金及び現金同等物の期首残高	48,848	55,772	―
営業活動によるキャッシュ・フロー	△953	10,784	税金等調整前中間純利益の計上、売上債権の減少等により、資金増加。
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,841	△1,812	関係会社出資金の払込による支出等により、資金減少。
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,349	△5,127	配当金の支払い等により、資金減少。
現金及び現金同等物に係る換算差額	△450	△71	―
現金及び現金同等物の増減額	△1,896	3,772	―
現金及び現金同等物の中間期末残高	46,952	59,545	―

（単位：百万円）

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

2. 2026年3月期 第2四半期（中間期）個別決算の詳細

【個別】土木事業

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期		
	実績	実績	前年同期比	
受注高	50,787	30,540	△20,246	△39.9%
国内	48,703	30,637	△18,066	△37.1%
海外	2,083	△96	△2,180	△104.6%
完成工事高	60,874	67,399	+6,524	+10.7%
完成工事総利益	8,302	10,516	+2,214	+26.7%
(完成工事総利益率)	(13.6%)	(15.6%)	(+2.0pt)	(—)
繰越高	262,702	234,637	△28,065	△10.7%

(単位:百万円)

■ 主な受注工事

国土交通省近畿地方整備局	野洲栗東バイパス行畑高架橋(P12－P17)PC上部工事
JFEスチール株式会社	倉敷地区革新電炉へのプロセス転換　電炉4工区環水設備新設基礎工事
東日本高速道路株式会社	東北自動車道　仙台宮城インターチェンジDランプ橋工事

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【個別】建築事業

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期		
	実績	実績	前年同期比	
受注高	139,098	128,692	△10,405	△7.5%
国内	129,018	119,928	△9,090	△7.0%
海外	10,079	8,764	△1,315	△13.1%
完成工事高	113,129	118,425	+5,295	+4.7%
完成工事総利益	11,674	14,753	+3,078	+26.4%
(完成工事総利益率)	(10.3%)	(12.5%)	(+2.1pt)	(ー)
繰越高	275,827	296,634	+20,806	+7.5%

(単位:百万円)

■ 主な受注工事

福岡ロジスティックS特定目的会社	GLP福岡IC　I
YKK VIETNAM COMPANY LIMITED	YKKベトナムニョンチャック第3期建設工事

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【個別】土木・建築合計

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期		
	実績	実績	前年同期比	
受注高	189,885	159,233	△30,652	△16.1%
国内	177,772	150,565	△27,156	△15.3%
海外	12,163	8,667	△3,496	△28.7%
完成工事高	174,004	185,824	+11,820	+6.8%
完成工事総利益	19,977	25,270	+5,292	+26.5%
(完成工事総利益率)	(11.5%)	(13.6%)	(+2.1pt)	(—)
繰越高	538,530	531,271	△7,259	△1.3%

(単位:百万円)

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

東海第二発電所において確認された事象について

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

■ 工事概要

工　事　名	東海第二発電所　防潮堤（海水ポンプ室エリア区間）設置他工事
発　注　者	日本原子力発電株式会社
施　工　者	安藤ハザマ・五洋・若築共同企業体
工事場所	茨城県那珂郡東海村

■ これまでの状況

- 2024年5月14日付「（開示事項の経過）施工中の工事に係る追加費用等の発生について」にて公表したとおり、当社を代表者とする共同企業体が施工中の上記工事のうち、鋼製防護壁基礎工事（南基礎・北基礎）における事象（以下「本件」）に関し、2024年3月期末時点において本件が損益に与える影響として、約62億円の追加費用等を見込んでいる。

■ 現在の状況

- 発注者様を含む工事関係者各位とともに、本件に係る補修計画について検討を継続中。

■ 品質確保に向けた当社の対応

- 大型高難度工事に対しては、従前から、本社からの支援体制を整備し対応。本件を受け、社長直轄・副社長管掌部門の「徹底的に品質にこだわるプロジェクト」を新設し、現場支援体制を強化。
- 施工部門と技術部門からより経験豊富なエキスパートを各工事の支援担当者として配置し、組織的なモニタリングと支援体制の強化により、リスク管理の徹底とリスクの未然防止を図り、品質を最優先に対応。

■ 今後について

- 補修計画の確定等により、業績予想への影響が重要であると判明した場合には、適時適切に開示。

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

3. 2026年3月期 通期の業績見通し

2026年3月期 通期の業績見通し

Be a ChangeBuilder. 安藤ハザマ

下半期の見通し

国内土木	政府建設投資は堅調に推移
国内建築	民間建設投資は堅調に推移
海外	米国の通商政策による生産施設投資への影響に注視が必要
資材・労務	資材価格・労務費の動向、労務のひっ迫感に注視が必要

【連結】業績予想

	2025年3月期	2026年3月期		(参考)2026年3月期 中間期	
	実績	期初予想（5月公表）	前期比	実績	進捗率（期末予想比）
売上高	425,160	441,000	+3.7%	201,023	45.6%
売上総利益	60,962	56,800	△6.8%	27,097	47.7%
（売上総利益率）	（14.3%）	（12.9%）	（△1.5pt）	（13.5%）	（—）
販売費及び一般管理費	25,718	29,700	+15.5%	15,021	50.6%
営業利益	35,243	27,100	△23.1%	12,076	44.6%
（営業利益率）	（8.3%）	（6.1%）	（△2.1pt）	（6.0%）	（—）
経常利益	34,053	26,500	△22.2%	11,321	42.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	26,444	18,000	△31.9%	7,752	43.1%

（単位：百万円）

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【個別】土木事業 業績予想

	2025年3月期	2026年3月期		(参考)2026年3月期 中間期	
	実績	期初予想 (5月公表)	前期比	実績	進捗率 (期末予想比)
受注高	129,941	125,000	△3.8%	30,540	24.4%
国内	121,320	119,000	△1.9%	30,637	25.7%
海外	8,620	6,000	△30.4%	△96	△1.6%
完成工事高	131,261	130,000	△1.0%	67,399	51.8%
完成工事総利益	19,724	22,300	+13.1%	10,516	47.2%
(完成工事総利益率)	(15.0%)	(17.2%)	(+2.1pt)	(15.6%)	(—)
繰越高	271,480	266,480	△1.8%	234,637	—

※ 2026年3月期繰越高は、以下の数式により便宜的に算出
「2025年3月期末繰越高」+「2026年3月期予想受注高」−「2026年3月期予想完成工事高」

(単位:百万円)

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【個別】建築事業 業績予想

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

	2025年3月期	2026年3月期		(参考)2026年3月期 中間期	
	実績	期初予想 (5月公表)	前期比	実績	進捗率 (期末予想比)
受注高	297,672	300,000	+0.8%	128,692	42.9%
国内	277,810	285,000	+2.6%	119,928	42.1%
海外	19,862	15,000	△24.5%	8,764	58.4%
完成工事高	261,419	260,000	△0.5%	118,425	45.5%
完成工事総利益	37,272	30,700	△17.6%	14,753	48.1%
(完成工事総利益率)	(14.3%)	(11.8%)	(△2.4pt)	(12.5%)	(—)
繰越高	286,582	326,582	+14.0%	296,634	—

※ 2026年3月期繰越高は、以下の数式により便宜的に算出
「2025年3月期末繰越高」+「2026年3月期予想受注高」−「2026年3月期予想完成工事高」

(単位:百万円)

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

【個別】土木・建築合計 業績予想

	2025年3月期	2026年3月期		(参考)2026年3月期 中間期	
	実績	期初予想 (5月公表)	前期比	実績	進捗率 (期末予想比)
受注高	427,614	425,000	△0.6%	159,233	37.5%
国内	399,131	404,000	+1.2%	150,565	37.3%
海外	28,483	21,000	△26.3%	8,667	41.3%
完成工事高	392,680	390,000	△0.7%	185,824	47.6%
完成工事総利益	56,996	53,000	△7.0%	25,270	47.7%
(完成工事総利益率)	(14.5%)	(13.6%)	(△0.9pt)	(13.6%)	(—)
繰越高	558,062	593,062	+6.3%	531,271	—

※ 2026年3月期繰越高は、以下の数式により便宜的に算出
「2025年3月期末繰越高」+「2026年3月期予想受注高」−「2026年3月期予想完成工事高」

(単位:百万円)

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

株主還元

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

「中期経営計画2025」主要KPI：中計最終期（2026年3月期）総還元性向　70%以上

■ 配当

基本方針

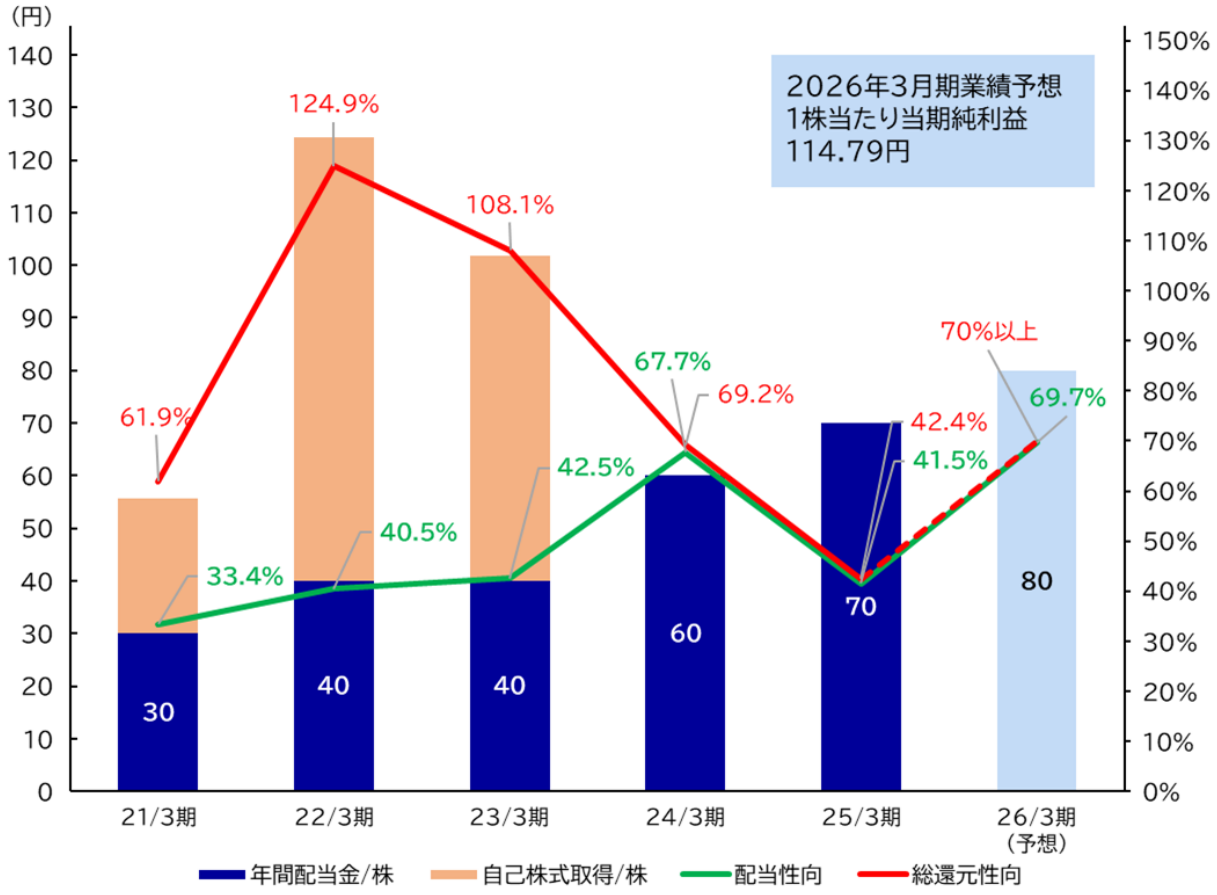
業績や将来の収益等を考慮し、
継続的かつ安定的な配当を実施

	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2025年3月期	30円	40円	70円	41.5%
2026年3月期	40円	40円（予定）	80円	69.7%

■ 自己株式取得

重要な還元施策の一つとして、資本効率の向上や株主への一層の利益還元を念頭におき、成長投資や業績・財務状況を総合的に勘案した中で、検討・実施

株主還元の推移



©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

4.「中期経営計画2025」進捗状況

（2024年3月期～2026年3月期）

中期経営計画2025の進捗状況（事業強化）

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

		進捗状況
建設事業	土木事業	• 都市土木、山岳土木等の強みのある分野で高い技術力を生かして競争力を確保。完成工事総利益率は引き続き高い水準を維持。 • 「山岳トンネル統合型掘削管理システム（i-NATM®）」の更なる進化（吹付けコンクリートの遠隔化・自動化の現場実証）。 • 国土強靭化に関連した、ため池安定化工法が兵庫県頓行司池に採用 • 下水道インフラの健全度向上に向けた専門チームを設置。
	建築事業	• 物流施設や生産施設等に加え、官庁案件においても受注・売上が順調に推移。完成工事総利益率は引き続き高い水準を維持。 • 農林水産省と「建築物の木造化及び木質化に関する建築物木材利用促進協定」を締結。木造・木質化に関わる技術開発を推進。 • 低炭素PCaパラレル基礎梁工法の適用範囲拡大、2現場で採用。
	エネルギー事業・その他	• 2025年4月「エネルギー事業本部」を新設。エネルギー施設関連工事等への取り組みを推進・強化。 • CPコンクリートについて大阪万博で個者出展。CPコンクリートを用いたプレキャスト製品の製造・販売事業を検討中。
建設外事業	再生可能エネルギー事業	• 坂出バイオマス発電所の投資済案件については2025年6月に営業運転開始。 • 岐阜県中津川市での系統用蓄電池事業に参入（2028年度の運転開始を目指す）。
	不動産・ビルサービス事業	• ビルサービスの高度化に資する維持管理BIMの導入に向け対応中。
グループ事業		• 中規模複合ビル開発事業（SOLUX金山）は前期竣工、運営中。 • PCa工場を保有する強みを生かした施策を展開（1日2サイクル製造可能な低炭素型セグメントの製造方法の確立、CPコンクリートを用いたプレキャスト製品の事業化にむけた検証を継続）。
DX		• 建設分野に特化した生成AIの社内運用を開始し、当社の技術情報等を随時アップデート。 • 現場業務で必要な知識を習得できるオリジナルアプリ（築造）を開発し、全社に展開。 • DXの更なる推進のため、習得すべきデジタルスキルの明確化を含めた「IT・DX人財育成計画」をアップデート。 • サイバー攻撃の脅威を重点リスクと捉え、物理的対策の強化や有事を想定した訓練を継続的に実施。

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画2025の進捗状況（TOPICS①）

令和6年度土木学会賞および日建連表彰2025土木賞を受賞

◎ 公益社団法人土木学会「令和6年度 土木学会賞」

表彰名	受賞対象
技術賞 Ⅰグループ	中央構造線に近接する大土被りトンネル施工技術の確立 （三遠南信青崩峠トンネル（仮称）本坑工事）
技術賞 Ⅱグループ	福島県内除染に伴う除去土壌等を集中的に貯蔵する中間貯蔵施設事業
田中賞（作品部門・新設）	ジャイン・コーカレー橋
国際活動奨励賞	青柳秀明（国際事業本部土木部海外土木作業所）

▲三遠南信青崩峠トンネル（仮称）本坑工事

◎ 一般社団法人日本建設業連合会「日建連表彰2025」

表彰名	受賞対象	施設管理者	設計者	施工者
第６回 土木賞	三遠南信自動車道の青崩峠トンネル（仮称）整備事業	国土交通省 中部地方整備局	片平新日本技研	安藤ハザマ、 五洋建設
	立野ダム建設工事	国土交通省 九州地方整備局	ニュージェック、八千代エンジニヤリング、建設技術研究所	西松・安藤ハザマ・ 青木あすなろJV

▲ジャイン・コーカレー橋

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画2025の進捗状況（TOPICS②）

ISOに準拠した建築物LCAで、EPDを取得 －東北日東工器株式会社おおざそう工場〔福島県／2025年6月完成〕－

◎ LCA（ライフサイクルアセスメント）

製品・サービスのライフサイクル全体（資源採取―原料生産―製品生産―流通・消費―廃棄・リサイクル）又はその特定段階における環境負荷を定量的に評価する手法

◎ EPD（Environmental Product Declaration）

ISO14040及びISO14044に準拠したLCA算定と、当該情報のコミュニケーションに必要な情報に対して第三者検証を実施した「第三者検証済みの製品環境情報」

◎ 安藤ハザマのLCA手法

これまでもISO基準に準拠した高い専門性を持ったLCA手法により、多様な環境負荷物質を評価する仕組みを確立し、建築物においてエコリーフやカーボンフットプリント認定を取得

◎ 透明性と信頼性の高い手法による環境影響の定量評価

ISOをはじめとした国際的な枠組みに準拠しているため、建物所有者のサプライチェーン排出量の定量評価に貢献するとともに、国内外のさまざまなステークホルダーとのエンゲージメントを可能にする

▲ EPDを取得した東北日東工器株式会社 おおざそう工場

SuMPO EPD JAPAN VERIFIED JR-AA-24001E

◀ SuMPO EPD
一般社団法人サステナブル経営推進機構が国際規格ISO14025に準拠し運営・管理を行う、日本発で唯一のEPDプログラム

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画2025の進捗状況（TOPICS③）

2025年6月、坂出バイオマス発電所の営業運転開始

四国電力株式会社、東京ガス株式会社、イーレックス株式会社、新光電装株式会社、株式会社坂出郵船組との共同出資により設立した坂出バイオマスパワー合同会社において「坂出バイオマス発電所」を建設し、2025年6月2日に営業運転を開始。

◎ 国内最大級となる出力75MWのバイオマス発電所。
年間発電量は約5.3億kWh（約17万世帯の年間電力消費量に相当）、年間約22万トンのCO2削減量を見込む。

◎ 電力の安定供給をはじめ、地球温暖化の防止、カーボンニュートラル社会の実現に貢献。

発電所名	坂出バイオマス発電所
発電所所在地	香川県坂出市林田町
事業主体	坂出バイオマスパワー合同会社
出資会社	四国電力：36%、安藤ハザマ：20% プロミネットパワー（東京ガス100%出資子会社）：15%、 イーレックス：14%、新光電装：10%、坂出郵船組：5%
発電出力	74,950kW（年間発電量　約5.3億kWh）
CO2削減量	年間約22万トン
使用燃料	木質ペレット（年間約32万トン）

▲坂出バイオマス発電所

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画2025の進捗状況（人的資本の価値向上・ESG経営の推進）

Be a ChangeBuilder. 安藤ハザマ

＊「中期経営計画2025」KPI		数値指標（2025年度 中計最終期）	2024年度実績	2025年度中間期　重点施策の進捗状況
E	脱炭素社会の実現に貢献	**GHG排出量（2017年度比）** **Scope1+2　34%以上削減＊** **Scope3　　21%以上削減＊**	35.7% 31.5%	・2025年8月、2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップを公表
S	人的資本の価値向上	人財投資（2022年度比）　55億円 増額 **従業員エンゲージメントスコア　80%以上＊** 資格保有人数　10%以上アップ 女性管理職人数　60人	54億円 77% 約4%アップ 47人	・2025年4月、7月に報酬水準および諸制度の見直しを実施（P.25の通り） ・今年度のエンゲージメントスコアは現在集計中 ・一級建築士等で受験対策研修を実施。 ・2025年10月時点で女性管理職人数62人（2025年3月末から15人増）。
S	人権対応	教育研修受講率　100%	100%	・人権方針の教育研修を実施（受講率100%）。
S	地方創生	3件以上（3か年累計）	2件継続	・久喜市とスタートアップ企業との連携協定に基づき、健康促進イベントの支援等を継続。
G	監査等委員会設置会社への移行など	社外取締役比率　過半数 女性取締役比率　30%以上	67% 33%	・2025年3月期定時株主総会後、社外取締役比率は67%、女性取締役比率は33%（2024年度実績から変動なし）
G	サステナビリティ委員会の設置など	年4回の開催でESG経営を推進	4回開催	・サステナビリティ委員会を上半期は5月、8月に開催。下半期は11月、3月に開催予定。 ・人権DDについて、2025年度は対象会社数を前年度より拡大し、外国人技能実習生を雇用する協力会社に対してアンケートを実施。
G	政策保有株式の縮減	保有株式の時価（非上場の場合は純資産額）の貸借対照表合計額の割合を連結純資産額の10%未満まで縮減　※詳細はP.27参照		

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画2025の進捗状況（TOPICS④）

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

「建設業界で社員を一番大切にする会社」を目指して　－シニアが活躍できる雇用環境の整備と多様な働き方の実現－

◎ 新たな定年後再雇用制度の導入（2025年4月実施）：経験豊かなシニア層の活躍

定年再雇用後も引き続き誇りとやりがいをもって活躍できるよう、定年前人事制度と定年後再雇用制度との連続性を図る制度へ見直し

項目	実施内容
シニア層の給与水準見直し	・定年再雇用後の給与水準は定年前と同額（全国型や役職任用者） ・多様な働き方にも配慮し、地域限定型の働き方が基本（諸手当は全国型と同額）
役職定年制の廃止と新たな役職の設定	・年齢にかかわらず役職任用できるように役職定年制を廃止 ・「マイスター（極めて高度な専門知識や経験を有する人財）」と「シニアアドバイザー（後継者育成の役割を担う人財）」の新設

◎ 人事諸制度の改定（2025年7月実施）：従業員エンゲージメントの向上

賃上げを含むさらなる処遇の改善、従業員のスキルアップ支援の継続と拡充、仕事と生活の両立支援の充実等を図る人事制度改定を実施

項目	実施内容
若手層の活躍促進	・昇格要件から、年功的な要素（年齢や滞留年数）を全て撤廃
「転勤」に対する意識の多様化への対応	・全国型総合職から地域限定型総合職へ転換できる制度を導入 ・転勤インセンティブとして、別居手当と転勤手当（一時金）を増額し、「管外赴任手当」を新たに導入
各種両立支援制度の拡充	・「ベビーシッターサービス利用支援制度」の利用条件である子の対象年齢の緩和 ・「治療と仕事の両立支援制度」の新設 ・社員の自律的キャリア形成を後押しするための自己啓発支援として、公的資格免許等保有者の手当を増額　他

©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画2025の進捗状況（成長投資）

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ

	進捗状況	前中計実績	中計期間 投資額累計 2023年度～2025年度	
			中計計画	2025年度 中間迄進捗
エネルギー事業	・太陽光PPA事業　継続的に取り組み（10件、6MW）。 ・坂出バイオマス発電所は、2025年6月営業運転開始。 ・中津川蓄電事業におけるSPC（特定目的会社）を設立し、系統用蓄電池の建設を開始、2028年の運転開始を目指す。	45	100	24.2
不動産事業・インフラ運営事業等	・FM事業の第一弾である東北支店ビル（仙台安藤ハザマビル）が2024年1月に完成し、供用開始。 ・中規模複合ビル開発事業（SOLUX金山）は前期竣工、運営中。	29	100	55.6
パートナー戦略投資	・人材派遣会社に出資し、関連会社化。当社の現場施工体制の強化にも大きく寄与。 ・BIM関連会社に出資し、関連会社化。当社若手社員の教育、人材交流、共同技術開発等を含めて、当社との連携強化を推進。 ・案件検討を継続中。	1	100	1.2
イノベーション投資・技術開発投資等	・技術研究所の遠心力載荷装置、大型振動台を活用した研究開発促進。	116	100	72.6
	総 額	191	400	153.6

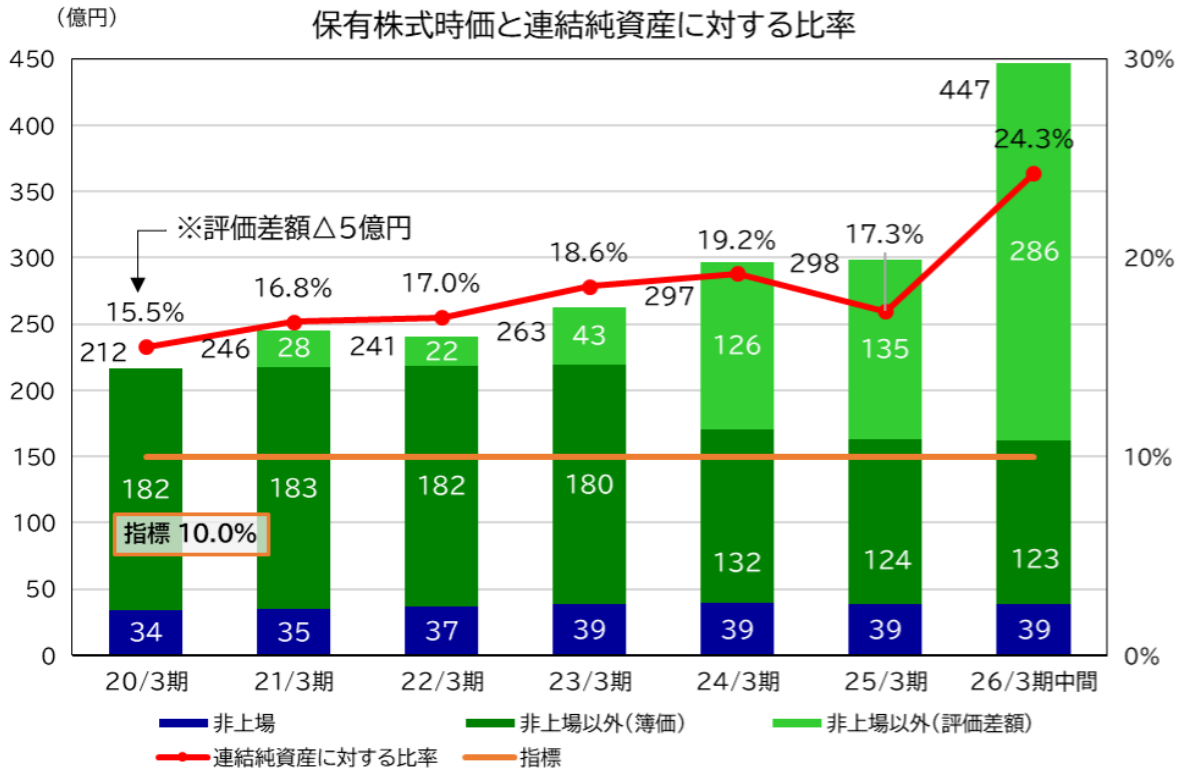
（単位：億円）

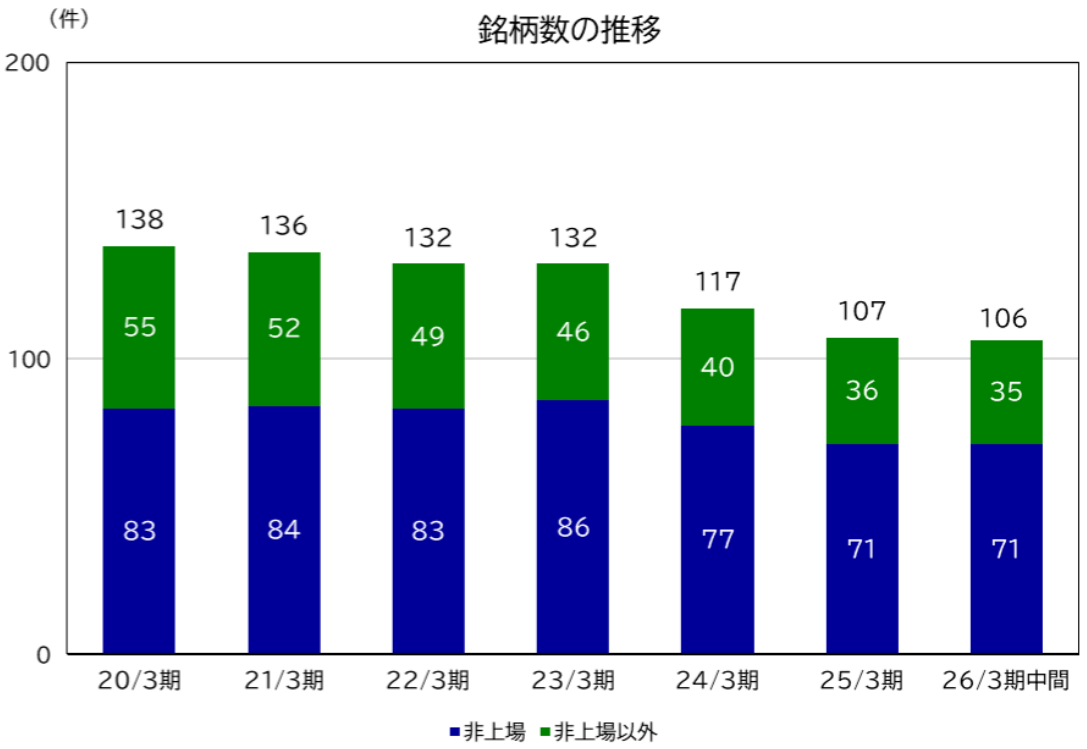
©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

政策保有株式の縮減 ー 進捗状況 ー

縮減方針	2026年3月末（中期経営計画最終期末）において、保有株式の時価（非上場の場合は純資産額）の貸借対照表合計額の割合を連結純資産額の10%未満まで縮減することを目指す。
目　　的	政策保有株式の売却から得られた資金の有効活用により資本効率の高い経営推進を強化し、企業価値を高める。
縮減状況	複数の銘柄で売却を進めたものの、評価額が大幅に増加し、連結純資産に対する比率は17.3%から24.3%に上昇。 相手先への丁寧な説明と交渉を継続し、期末に向けて縮減を推進していく。

※政策保有株式の縮減方針：2023年11月公表。なお、以下のグラフでは「みなし保有株式（退職給付信託に拠出している株式）」を含めて縮減状況を表示。





©2025 HAZAMA ANDO CORPORATION All rights reserved.

本資料はIRのためのスライド集であり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業および業界動向についての株式会社 安藤・間による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ